

1. 件 名：九州電力株式会社川内原子力発電所の原子力事業者防災訓練の事前説明について
2. 日 時：令和5年12月8日（火）10時00分～11時20分
3. 場 所：原子力規制庁3階 ERC会議室
4. 出席者（テレビ会議システムによる出席）
 - 原子力規制庁
 - 緊急事案対策室
 - 川崎企画調整官、反町専門職、嶋崎専門官、澤村専門官、酒井専門職、沼田専門職、五十嵐室員
 - 川内原子力規制事務所
 - 宮本原子力防災専門官
 - 九州電力株式会社
 - 原子力発電本部 原子力防災担当次長 他4名
 - 【ピアレビュー事業者】
 - 北海道電力株式会社
 - 原子力事業統括部 原子力業務グループ 副主幹 他2名
 - 東京電力ホールディングス株式会社
 - 原子力運営管理部 防災安全グループ 課長 他6名
 - 中部電力株式会社
 - 本店 防災・核物質防護グループ 課長 他2名
 - 【オブザーバー事業者】
 - 東北電力株式会社
 - 原子力部 原子力防災・防護 担当 他1名
 - 北陸電力株式会社
 - 原子力部 原子力防災チーム 副課長
 - 関西電力株式会社
 - 原子力事業本部 安全・防災グループ マネージャー 他2名
 - 中国電力株式会社
 - 電源事業本部 原子力運営グループ マネージャー 他1名
 - 四国電力株式会社
 - 原子力本部 管理グループ 副リーダー 他1名
 - 電源開発株式会社
 - 原子力技術部 運営基盤室（防災技術基盤） 課長代理 他1名

5. 要 旨

九州電力株式会社から、令和5年12月19日に予定されている同社川内原子力発電所における原子力事業者防災訓練の計画概要に関して、前回の面談時（11月21日）の原子力規制庁からのコメントを踏まえて修正した内容について、資料1に基づき説明があった。

原子力規制庁及びピアレビューを行う事業者から、評価者が評価指標の「評価対象の考え方など」に従って適切に評価できるよう、改めて以下についてコメントした。九州電力株式会社からは、本日の面談でのコメントを踏まえ対応する旨の回答があった。

- ・「指標2：ERCプラント班との情報共有」に関して、訓練後の面談の際には、ERCリエゾン等の要員の育成・配置計画に関して、社内の意思決定を行ったことを示すエビデンスや、休日・夜間に当番者が速やかに参集できる体制となっていることを示すエビデンスを整理して説明すること。
- ・「指標6：シナリオの多様化・難度」に関して、判断分岐などの難易度の設定の考え方については、今後の面談等を通して、原子力規制庁と事業者との間で意見交換を行い、理解を深めていくこととしたい。

また、原子力規制庁から、原子力規制庁の訓練への関与等について、事業者との間で引き続きロジの調整を進めていく旨伝えた。

6. その他

配布資料：

資料1 2023年11月21日の訓練計画説明時のコメント反映資料（九州電力株式会社）